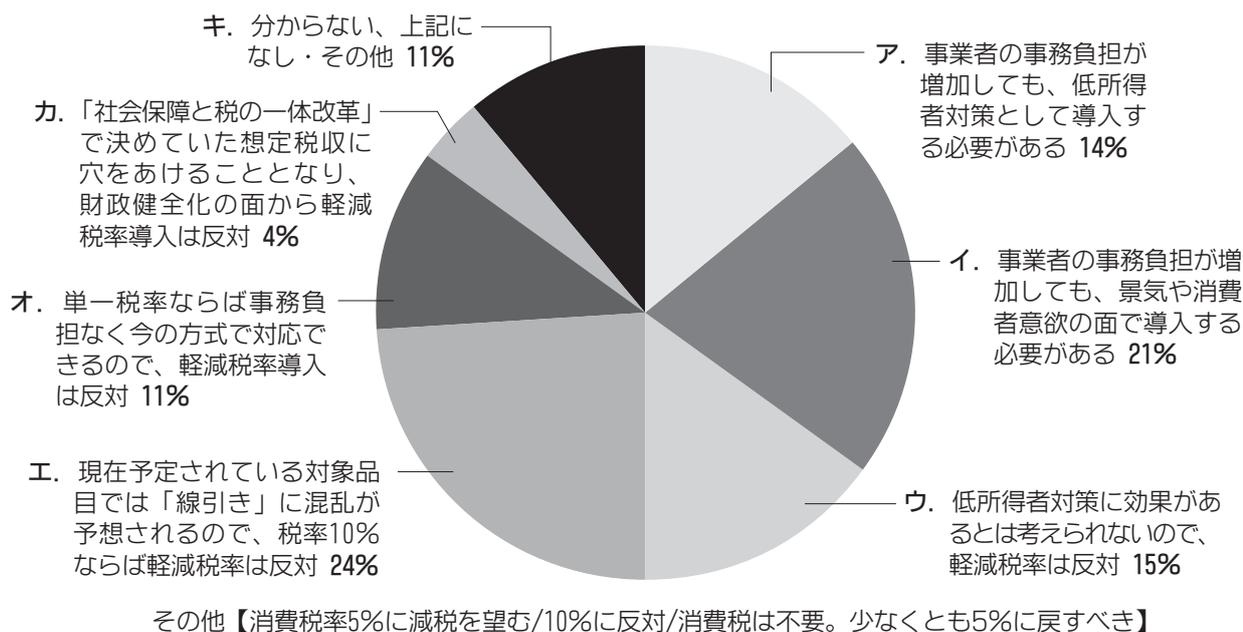


2【消費税軽減税率導入について】

消費税率10%への引上げとなる平成31年10月から ①酒類及び外食を除く飲食料品、②新聞の定期購読料の税率を8%とする軽減税率制度が、また、平成35年10月からは、複数の税率に対応する事業者の経理方式として、それまで4年間適用される「区分記載請求書等保存方式」を経て、いわゆるインボイス（適格請求書保存方式：商品ごとに税率や税額を税額票に明記する）方式が導入されることとなっています。

そこで、消費税の軽減税率導入についてお考えに近いものを、次の中から1つ選び、○印をお付けください。



その他、税などについてのご意見を何でも自由にご記入ください。

【税体系・行財政全般】

「公平で健全な税制」の実現を切望する／高額所得者への増税・国会議員の削減・歳費の削減・国家公務員の給与見直し（人員・人件費削減）／高所得者（年800万以上）に対して、こども手当等は必要ない／勤勉に働き社会保険料・税金を納めている人を中心に税と社会保障を考えていく必要がある／政治家・閣僚は国民の幸せなど全く考えていないと思わざるを得ない。主権者たる国民の血税を国民のために使わせていただくという「公僕」の意識が全くない／税制が大企業に甘く、中小企業や一般国民の負担が重いので、真の税制改革が必要／社会保険料支払い義務を皆が自覚し社会保障の財源確保を図る／歳出の無駄の排除に真剣に取り組んでほしい／老人や子供、低所得者が泣くことのない税の使途を望む／税の徴収は厳格であるのに、使途についてはアバウトな感じがする／所得に応じた税額を納めるのが公平／相続税の課税強化／金持ち・高収益企業の税率を上げるべき／中小零細企業に対し法人税の改革をお願いしたい／マイナンバーの使用はセキュリティ上、最小限としてほしい

【消費税関係】

今の経済状況での消費税率引き上げは疑問／消費税率は一律10%にして、低所得者に対しては補助で対応／必要といわれても消費税率引き上げは抵抗がある。軽減税率導入については社会の混乱は必至であり、導入反対。事業者は事務処理ばかりでなく消費増税の支払負担が多／消費税はシンプルが一番（同様意見あり）／軽減税率の導入は政治家・官僚の力を増大させることになる／消費税率引き上げにより景気が悪くなる。無駄な歳出を見直し、消費税率を上げない努力をしてほしい／消費税率20%以上になったら軽減税率を考える（20%までは消費者の購買力は低下しない）／平成31年10月には消費税率10%を必ず実行してほしい／消費税率10%引き上げの次は15%としており、その後20～25%となったら大変／建物に掛かる消費税を非課税に（せめて長期優良住宅には）／飲食料品及び新聞購読料の国民総支出に占める割合は統計上把握できるであろうから、10%と軽減税率8%適用の加重平均をとって統一税率にすれば無駄な事務負担もインボイスも導入せず済む／軽減税率については生きていく上で必要なものには全て適用すべき（他国で出来ているものが日本で出来ないことはない）

～皆様、ご協力誠にありがとうございました～